

第 57 回日本化学療法学会総会プログラム

特別講演

特別講演 1 6月4日(木) 11:20~12:10 第1会場
どうなる!!! 未来の化学療法—最新技術の応用と次世代を担う人材の育成—
河野 茂 (長崎大学 医学部 第二内科)
座長: 戸塚 恭一 (東京女子医科大学 感染対策部 感染症科)

特別講演 2 6月5日(金) 9:00~9:40 第1会場
細菌の遺伝的潜在能力としての新型薬剤耐性菌の出現
荒川 宜親 (国立感染症研究所 細菌第二部)
座長: 砂川 慶介 (北里大学北里生命科学研究所 感染症学)

招請講演

招請講演 1 6月4日(木) 10:00~10:45 第2会場
インフルエンザ重症化メカニズムの解明と治療法の開発
木戸 博 (徳島大学 疾患酵素学研究センター)
座長: 岩本 愛吉 (東京大学医科学研究所 先端医療研究センター感染症分野)

招請講演 2 6月4日(木) 11:00~11:45 第2会場
分子標的治療薬による癌化学療法の進化と個別化治療への展開
藤田 直也 ((財)癌研究会 癌化学療法センター 基礎研究部)
座長: 渡辺 彰 (東北大学加齢医学研究所 抗感染症薬開発研究部門)

招請講演 3 6月5日(金) 10:00~10:45 第2会場
マクロライド新作用の軌跡と展望
工藤 翔二 ((財)結核予防会複十字病院)
座長: 後藤 元 (杏林大学医学部 第一内科)

招請講演 4 6月5日(金) 11:00~11:45 第2会場
リウマチ性疾患における免疫抑制療法と感染症:ステロイドから生物学的製剤まで
川合 眞一 (東邦大学 医療センター 大森病院 膠原病科)
座長: 山口 恵三 (東邦大学医学部 微生物・感染症学講座)

教育講演

教育講演 1 6月4日(木) 9:00~9:30 第8会場
感染症ガイドラインの国際比較 評価の論拠を考える
岩田健太郎 (神戸大学 医学研究科 微生物感染症学講座 感染治療学分野)
座長: 竹末 芳生 (兵庫医科大学 感染制御学)

教育講演 2 6月4日(木) 9:30~10:00 第8会場
 米国感染症事情 —米国で求められる“臨床力・研究力”—
 土井 洋平(ピッツバーグ大学医学部感染症内科)
 座長: 門田 淳一(大分大学医学部 総合内科学第二講座)

教育講演 3 6月4日(木) 10:00~10:30 第8会場
 抗感染症薬のパイプライン・レビュー
 満山 順一(富山化学工業株式会社 総合研究所 第三研究部)
 座長: 小野寺昭一(東京慈恵会医科大学 感染制御部)

教育講演 4 6月4日(木) 10:30~11:00 第8会場
 真菌感染症治療のパラダイム
 宮崎 義継(国立感染症研究所 生物活性物質部)
 座長: 亀井 克彦(千葉大学真菌医学研究センター 病原真菌研究部門 真菌感染分野)

教育講演 5 6月4日(木) 11:00~11:30 第8会場
 新抗結核薬・抗酸菌化学療法をめぐる最近の話題
 土井 教生(結核予防会 結核研究所 抗酸菌レファレンス部)
 座長: 三笠 桂一(奈良県立医科大学 感染症センター)

教育講演 6 6月5日(金) 9:00~9:30 第8会場
 小児感染症治療のピットフォール
 尾内 一信(川崎医科大学 小児科学)
 座長: 春田 恒和(神戸市立医療センター中央市民病院 小児科・感染症科)

教育講演 7 6月5日(金) 9:30~10:00 第8会場
 上気道感染症の難治化に対する治療戦略
 保富 宗城(和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科)
 座長: 鈴木 賢二(藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 耳鼻咽喉科)

教育講演 8 6月5日(金) 10:00~10:30 第8会場
 鳥インフルエンザと新型ウイルス
 喜田 宏(北海道大学大学院 獣医学研究科・人獣共通感染症リサーチセンター)
 座長: 松本 慶蔵(伴師会愛野記念病院)

教育講演 9 6月5日(金) 10:30~11:00 第8会場
 潰瘍性大腸炎における腸内細菌の役割と抗菌薬多剤併用 ATM 療法
 大草 敏史(東京慈恵会医科大学附属柏病院 消化器・肝臓内科)
 座長: 炭山 嘉伸(東邦大学 名誉教授)

“Topics in Microbiology and Chemotherapy”

司会：平松 啓一（順天堂大学 医学部 細菌学教室）

八木澤守正（慶應義塾大学薬学部・大学院 薬学研究科）

司会のことば

平松 啓一（順天堂大学 医学部 細菌学教室）

1. MDR in *Acinetobacter*, *Pseudomonas*, and *Klebsiella*: common themes and future trends
Bonomo, Robert (Louis Stokes Cleveland Department of Veterans Affairs Medical Center, Cleveland, Ohio, USA)
2. Sociomicrobiology: Communication and Coordination of Group Activities in Bacteria—A Target for Bacterial Virulence Therapeutics
Greenberg, Peter (Department of Microbiology, University of Washington, Seattle, Washington, USA)
3. Association of virulence plasmid and antibiotic resistance determinants with chromosomal multilocus genotypes in Mexican *Salmonella enterica* serovar Typhimurium strains
Calva, Edmundo (Departamento de Microbiología Molecular, Instituto de Biotecnología, Universidad Nacional Autónoma de México, Cuernavaca, Mexico)
4. MRSA Strikes Back!
平松 啓一（順天堂大学 医学部 細菌学教室）

シンポジウム

シンポジウム 1

創薬物語 —科学者としての喜びの瞬間—

司会：公文 裕巳（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科）

青木 信樹（信楽園病院）

司会のことば

公文 裕巳（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科）

1. セファゾリン
峯 靖弘（元 藤沢薬品研究本部）
2. タゾバクタム・ピペラシリン
宇治 達哉（大鵬薬品工業株式会社 研究開発本部 研開推進部）
3. クラリスロマイシンとの幸運な出会い
森本 繁夫（大正製薬株式会社）
4. レボフロキサシンに至る創薬研究 —よりよい薬を求めて—
早川 勇夫（第一三共株式会社 研究開発本部 研究開発企画部）
5. メロペネム —若き素人小集団の創薬への取組み—
砂川 洵（大阪大学産業科学研究所）

シンポジウム 2

6月4日(木) 9:50~11:30 第4会場

抗MRSA薬をめぐる最近の話題

司会：二木 芳人(昭和大学 医学部 臨床感染症学)

賀来 満夫(東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座感染制御・検査診断学
分野)

司会のことば

二木 芳人(昭和大学 医学部 臨床感染症学)

1. 新規抗MRSA薬の開発状況
八木澤守正(慶応義塾大学薬学部・大学院薬学研究科)
2. 抗MRSA薬耐性の現況 ―我が国と世界の動向―
柳原 克紀(長崎大学附属病院検査部)
3. 抗MRSA薬耐性菌の遺伝子解析
花木 秀明(北里大学 抗感染症薬研究センター)
4. わが国のリネゾリド耐性MRSA感染症の現状を考察する ―海外報告症例を踏まえて―
吉田耕一郎(昭和大学 医学部 臨床感染症学)
5. MRSA感染症の治療戦略
朝野 和典(大阪大学 医学部 感染制御部)

シンポジウム 3

6月4日(木) 14:30~16:30 第2会場

医師・薬剤師連携 ―抗菌薬の適正使用と耐性菌抑制―

司会：林 昌洋(虎の門病院 薬剤部)

柳原 克紀(長崎大学医学部・歯学部附属病院 検査部・第二内科)

司会のことば

林 昌洋(虎の門病院薬剤部)

1. 抗菌薬の適正使用の推進 ―薬剤部とICTにおける感染制御専門薬剤師の役割―
田中 昌代(NTT東日本関東病院 薬剤部)
2. 感染制御の視点から
栗原慎太郎(長崎大学医学部・歯学部附属病院 感染制御教育センター)
3. 抗菌化学療法の個別化・最適化 ―薬剤師の提案と医師との協働―
木村 利美(東京女子医科大学病院 薬剤部)
4. 感染症治療において医師が求める連携
山岸 由佳(愛知医科大学大学院医学研究科 感染制御学)

シンポジウム 4

6月4日(木) 14:30~16:30 第4会場

化学療法学の学際的融合 ―新しい抗菌薬標的の探索―

司会：松本 哲哉(東京医科大学 微生物学教室・感染制御部)

山野 佳則(塩野義製薬 創薬研究所)

司会のことば

松本 哲哉(東京医科大学 微生物学講座・感染制御部)

1. 抗菌薬の新規標的としての細菌のアクチン様細胞骨格タンパク質
和地 正明(東京工業大学大学院 生命理工学研究科 生物プロセス専攻)
2. 新たな創薬ターゲットとしての薬剤排出ポンプ
西野 邦彦(大阪大学 産業科学研究所 感染制御学研究分野)

3. 抗生物質耐性機構を超越した多剤耐性グラム (+) 菌に対する抗菌ナノ構造体の研究
城武 昇一 (横浜市立大学大学院医学研究科 薬物療法学)
4. 昆虫ディフェンシンを改変した合成ペプチドの病原細菌に対する作用機構と治癒効果
山川 稔 (農業生物資源研究所 生体防御研究ユニット)
5. カイコを用いた抗菌薬評価系の構築
関水 和久 (東京大学 大学院 薬学系研究科)
6. 産学協同による新規抗菌薬の探索
有本 博一 (東北大学大学院生命科学研究科)

シンポジウム 5

6月4日(木) 15:10~17:30 第8会場

Legionnaires'Disease, A Status Report 30 Years After Its Recognition

司会: 中浜 力 (大阪大学 微生物病研究所)

館田 一博 (東邦大学医学部 微生物・感染症学講座)

共催: ファイザー (株)・バイエル薬品 (株)

司会のことば

中浜 力 (大阪大学 微生物病研究所)

1. Legionella Diseases: Japanese Perspective
館田 一博 (東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座)
2. Legionnaires'Disease -its History and Clinical Findings
Edelstein, Paul (University of Pennsylvania Medical School, Philadelphia, Pennsylvania, USA)
3. *Legionella pneumophila* virulence as a response to starvation
Swanson, Michele (University of Michigan Medical School, Ann Arbor, Michigan, USA)

シンポジウム 6

6月4日(木) 16:30~18:30 第4会場

薬剤耐性講座 —メカニズムの基本から新発見まで—

司会: 松本 哲朗 (産業医科大学 泌尿器科)

後藤 直正 (京都薬科大学薬学部 微生物・感染制御学分野)

司会のことば

松本 哲朗 (産業医科大学 泌尿器科学)

1. 抗菌薬耐性メカニズムの概観
松本 哲朗 (産業医科大学 泌尿器科学)
2. 不活化酵素
石井 良和 (東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座)
3. エフラックスと透過障害による耐性
後藤 直正 (京都薬科大学 薬学部 微生物・感染制御学分野)
4. 作用点の変異 —キノロンとβ-ラクタムを例に—
星野 一樹 (第一三共株式会社 生物医学第四研究所)
5. 作用点の保護 —グリコペプチド耐性—
巻 秀樹 (塩野義製薬株式会社 創薬研究所)

シンポジウム 7

6月5日(金) 9:50~11:30 第4会場

耐性菌への総合戦略～Stop! 耐性菌～医療だけでは出来ない! 市民, 企業, 行政からの視点と取り組み

司会: 岩田 敏 (国立病院機構東京医療センター 統括診療部)

朝野 和典 (大阪大学医学部附属病院 感染制御部)

司会のことば

朝野 和典 (大阪大学医学部附属病院 感染制御部)

1. 研究者の立場から

石井 良和 (東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座)

2. 報道・市民の立場からみた耐性菌問題

中村 通子 (朝日新聞大阪本社 編集局)

3. 耐性菌増加を抑制するための企業の取り組みと今後の課題について

山口 広貴 (第一三共株式会社 学術調査部)

4. 行政の視点と取り組み

佐藤 淳子 (医薬品医療機器総合機構)

シンポジウム 8

6月5日(金) 13:10~15:10 第1会場

TDM学会ジョイント企画: 抗菌薬 PK-PD 理論の検証・応用・限界

司会: 谷川原祐介 (慶應義塾大学 医学部 薬剤部)

三嶋 廣繁 (愛知医科大学大学院 医学研究科 感染制御学)

司会のことば

谷川原祐介 (慶應義塾大学 医学部 薬剤部)

1. 抗菌薬 PK-PD 理論とその検証

戸塚 恭一 (東京女子医科大学 感染対策部 感染症科)

2. PK-PD を考慮した抗 MRSA 薬の使用法

萩原 真生 (愛知医科大学病院 ICT)

3. カルバペネムの PK-PD と TDM

池谷 修 (慶應義塾大学病院 薬剤部)

4. 小児領域抗菌薬臨床開発への PK-PD の応用

相澤 一雅 (明治製菓株式会社 臨床開発部)

5. 抗真菌薬の TDM の有用性と問題点

上野 和行 (新潟薬科大学 薬学部 薬物動態学研究室)

6. 抗 HIV 薬の薬物血中濃度と臨床応用

吉野 宗宏 (独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科)

シンポジウム 9

6月5日(金) 13:10~15:10 第2会場

Asian Communication and Collaboration Meeting (ACCM) "Neighbor Countries, Close Problems, Think Together: Antibiotic Resistance"

司会: 小林 芳夫 (慶應義塾大学 医学部 中央臨床検査部微生物)

菅野 治重 (医療法人社団徳風会 高根病院 内科)

司会のことば

小林 芳夫 (慶應義塾大学 医学部 中央臨床検査部微生物)

1. Current status of antimicrobial resistance in China

Wang, Mingui (Huashan Hospital, Fudan University, Shanghai, China)

2. Current Status of Antimicrobial Resistance in South Korea
Yong, Dong (Dept. of Lab. Med. & Res. Inst. of Bact. Resist., Yonsei Univ. Coll. of Med., Korea)
3. The Network for Antimicrobial Resistance Surveillance (Singapore)
Koh, Tse Hsien (Singapore General Hospital, Singapore)
4. 日本における耐性菌呼吸器感染症の現状
二木 芳人 (昭和大学 医学部 臨床感染症学)

シンポジウム 10 6月5日(金) 13:10~14:40 第4会場
市中の侵襲性感染症に広がる耐性菌

司会: 山中 昇 (和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科)
荒川 創一 (神戸大学医学部附属病院 手術部・感染制御部)

司会のことば

山中 昇 (和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科)

1. 呼吸器系感染症にみられる治療上問題となる耐性菌
生方 公子 (北里大学 北里生命科学研究所 大学院 感染制御科学府)
2. 市中耐性菌感染症に対する治療戦略 —ガイドラインと理論に基づく抗菌薬選択—
柳原 克紀 (長崎大学付属病院検査部)

シンポジウム 11 6月5日(金) 14:40~16:10 第4会場
ワクチン戦略をめぐる諸問題

司会: 岡部 信彦 (国立感染症研究所 感染症情報センター)

司会のことば

岡部 信彦 (国立感染症研究所 感染症情報センター)

1. 日本のワクチン戦略
多屋 馨子 (国立感染症研究所 感染症情報センター)
2. 世界におけるワクチン戦略
鈴木 宏 (新潟大学大学院医歯学総合研究科国際感染医学講座)
3. 医療現場が求めるワクチン戦略
岩田 敏 (独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 小児科)

卒前教育版：抗菌薬適正使用セミナー

6月4日(木) 17:30~18:50 第3会場

司会: 三笠 桂一 (奈良県立医科大学 感染症センター)
館田 一博 (東邦大学医学部 微生物・感染症学講座)

司会のことば

三笠 桂一 (奈良県立医科大学 感染症センター)

1. 抗菌薬療法総論
松本 哲哉 (東京医科大学 微生物学講座・感染制御部)
2. 抗菌薬療法の実際 —なにごとにも原則から考える—
大曲 貴夫 (静岡がんセンター 感染症科)
3. 感染症診断から抗菌薬療法へのアプローチ
細川 直登 (亀田総合病院 総合診療・感染症科)
4. 抗菌薬療法のコツとピットフォール —感染症治療の面白さと難しさを学ぼう—
柳原 克紀 (長崎大学付属病院検査部)

新薬シンポジウム 1

6月4日(木) 15:00~17:00 第1会場

テレビペナム ピボキシル

司会：砂川 慶介(北里大学 北里生命科学研究所 大学院 感染制御科学府)

山中 昇(和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

共催：明治製菓株式会社

司会のことば

砂川 慶介(北里大学 北里生命科学研究所 大学院 感染制御科学府)

1. Real-time PCR法を活用した細菌学的検討
生方 公子(北里大学 北里生命科学研究所 大学院 感染制御科学府)
2. PK-PDを活用した臨床開発
戸塚 恭一(東京女子医科大学 感染対策部 感染症科)
3. 小児耳鼻咽喉科領域感染症に対する有効性
鈴木 賢二(藤田保健衛生大学 坂文種報徳會病院 耳鼻咽喉科)
4. 小児に対するTBPM-PIの有効性と薬物動態との関係
岩田 敏(国立病院機構 東京医療センター 小児科)
5. 小児における安全性
堀 誠治(東京慈恵会医科大学 薬理学講座)
6. TBPM-PIの臨床的位置づけ
山中 昇(和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

新薬シンポジウム 2

6月5日(金) 10:00~12:00 第1会場

レボフロキサシン 500mg 1日1回の新用法・用量

司会：戸塚 恭一(東京女子医科大学 感染対策部 感染症科)

砂川 慶介(北里大学 北里生命科学研究所 大学院 感染制御科学府)

共催：第一三共株式会社

司会のことば

戸塚 恭一(東京女子医科大学 感染対策部 感染症科)

1. 新用法・用量に関する産学官連携
柴 孝也(東京慈恵会医科大学)
2. 新用法・用量のコンセプト
河野 茂(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 感染免疫学講座)
3. 臨床試験成績
 - 1) PK-PD
谷川原祐介(慶應義塾大学 医学部 薬剤部)
 - 2) 呼吸器感染症
二木 芳人(昭和大学 医学部 臨床感染症学講座)
 - 3) 尿路感染症
松本 哲朗(産業医科大学 泌尿器科)
 - 4) 安全性および腎機能障害患者における用法・用量調節
堀 誠治(東京慈恵会医科大学 薬理学講座)
4. 各領域感染症における使い方
山中 昇(和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

委員会報告

6月4日(木) 14:10~14:30 第1会場

1. 微量液体希釈法改定委員会報告
委員長：山口 恵三
2. レジオネラ治療薬評価委員会報告
委員長：斎藤 厚
3. 抗菌薬ブレイクポイント委員会報告
委員長：門田 淳一

教育セミナー

教育セミナー 1 6月4日(木) 12:10~13:10 第2会場
抗菌薬の適正使用を考える ―これまでに解決したこと、これから解決すべきこと―

- 三嶋 廣繁(愛知医科大学大学院 医学研究科 感染制御学)
座長：那須 勝(大分中村病院総合臨床研究センター)
共催：アステラス製薬(株)・大正富山医薬品(株)

教育セミナー 2 6月4日(木) 12:10~13:10 第3会場
市中にみられる成人の侵襲性・重症感染症 ―患者背景・起炎菌解析からみえること―

- 生方 公子(北里大学 北里生命科学研究所 大学院 感染制御科学府)
座長：井上 松久(学校法人北里研究所 北里大学)
共催：第一三共(株)

教育セミナー 3 6月4日(木) 12:10~13:10 第4会場
変化を遂げる耐性菌感染症とその対策

- 松本 哲哉(東京医科大学 微生物学講座)
座長：西野 武志(京都薬科大学)
共催：塩野義製薬(株)

教育セミナー 4 6月4日(木) 12:10~13:10 第5会場

1. HIVにみられる深在性真菌症
安岡 彰(長崎大学 医学部・歯学部附属病院 感染制御教育センター)
2. HIVと結核
永井 英明(独立行政法人国立病院機構 東京病院 呼吸器科)
座長：木村 哲(東京通信病院)
共催：万有製薬(株)

教育セミナー 5 6月4日(木) 12:10~13:10 第6会場
明日からできる抗菌薬治療のアンチエイジング

- 今村 圭文(長崎大学 第二内科)
座長：嶋田甚五郎(聖マリアンナ医科大学 微生物学)
共催：グラクソ・スミスクライン(株)

教育セミナー 6 6月4日(木) 12:10~13:10 第7会場
MRSAの最近の話題

平松 啓一(順天堂大学細菌学・感染制御科学)
座長: 島田 馨(元 東京大学医科学研究所附属病院)
共催: ブリストル・マイヤーズ(株)

教育セミナー 7 6月4日(木) 12:10~13:10 第8会場
感染制御および感染症コンサルテーションと抗菌薬の適正使用 —東北大学病院での新しい試みも含めて—

平潟 洋一(東北大学大学院 臨床微生物解析治療学講座)
座長: 辻 明良(東邦大学)
共催: 大日本住友製薬(株)

教育セミナー 8 6月5日(金) 8:00~9:00 第4会場
小児における新規抗菌薬の開発と適正使用について考える

岩田 敏(独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 統括診療部)
座長: 砂川 慶介(北里大学北里生命科学研究所 感染症学)
共催: 明治製菓(株)

教育セミナー 9 6月5日(金) 8:00~9:00 第6会場
臨床で問題となる耐性菌感染症:的確に見抜き,適切に治療するにはどうするか?

大曲 貴夫(静岡県立静岡がんセンター 感染症科)
座長: 松島 敏春(財団法人淳風会倉敷第一病院 呼吸器センター)
共催: シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株)

教育セミナー 10 6月5日(金) 12:00~13:00 第2会場
インフルエンザ感染における炎症制御とマクロライド

佐藤 圭創(九州保健福祉大学 薬学部 感染症治療学)
座長: 吾妻安良太(日本医科大学 内科学講座 呼吸器・感染・腫瘍部門)
共催: アボットジャパン(株)

教育セミナー 11 6月5日(金) 12:00~13:00 第3会場
ニューキノロン系抗菌薬を再考する

平松 和史(大分大学 医学部附属病院 感染制御部)
座長: 斎藤 厚(日本赤十字社長崎原爆諫早病院)
共催: 塩野義製薬(株)

教育セミナー 12 6月5日(金) 12:00~13:00 第5会場
病院内で問題となっている耐性菌とその対策:2008-2009

竹末 芳生(兵庫医科大学 感染制御学)
座長: 相川 直樹(財団法人 国際医学情報センター)
共催: マイラン製薬(株)

教育セミナー 13

6月5日(金) 12:00~13:00 第6会場

予防有理(予防こそ正しい道理がある)

朝野 和典(大阪大学 感染制御部)

座長:一山 智(京都大学大学院医学研究科 臨床病態検査学)

共催:武田薬品工業(株)

教育セミナー 14

6月5日(金) 12:00~13:00 第7会場

市中肺炎, 院内肺炎治療の考え方 —ゾシン静注用(TAZ/PIPC)を含むペニシリン系薬の位置づけ—

渡辺 彰(東北大学 加齢医学研究所 抗感染症薬開発研究部門)

座長:松本 慶蔵(伴師会愛野記念病院)

共催:大鵬薬品工業(株)

教育セミナー 15

6月5日(金) 12:00~13:00 第8会場

MDRP 感染症の基礎と臨床

松本 哲哉(東京医科大学 微生物学講座)

米山 彰子(虎の門病院 臨床感染症部)

座長:河合 伸(杏林大学医学部感染症学)

共催:エーザイ(株)

ICD 講習会

6月5日(金) 16:10~17:40 第1会場

“I” でつなぐ感染対策 —抗菌薬適正使用への貢献—

司会:大毛 宏喜(広島大学 医学部 第一外科)

木村 利美(東京女子医科大学病院 薬剤部)

司会のことば

大毛 宏喜(広島大学 医学部 第一外科)

1. ICD:“使わない”という選択肢

渡邊 浩(久留米大学病院 感染制御部)

2. ICPH:“中止する”という選択肢

小林 昌宏(北里大学病院 薬剤部)

3. ICMT:“必要ない”という選択肢

小森 敏明(京都府立医科大学附属病院 臨床検査部)

プログラム【要望演題】

第2日 6月4日(木) 午後 第6会場

セッション	演題番号	演題名	発表者	所属
歯科・口腔外科 感染症 15:30~16:45	座長：金子 明寛（東海大学医学部 外科学系口腔外科）			
	1	口腔細菌に及ぼす Tea Tree Oil の影響 —TTO の 歯科応用（10）—	藤田 真理	北海道医療大学 歯学部 口腔生物学系 微生物学分野
	2	歯性感染症由来菌の biofilm 形成と各種抗菌薬の biofilm 形成抑制作用について	金子 明寛	東海大学 医学部 外科学系 口腔外科
	3	カテキン含有ジェルを用いた口腔ケアの口腔微生物 に対する抗菌効果	泉福 英信	国立感染症研究所 細菌第一部
	4	維持透析患者に発症した歯科治療後の頸部蜂窩織炎 の1例	速見 浩士	鹿児島大学病院 血液浄化療法部
	5	マクロライド系抗菌薬による歯周病治療の考え方と 薬物療法	王 宝禮	松本歯科大学 歯科薬理学 講座・附属病院口腔内科
副作用 16:45~18:50	座長：堀 誠治（東京慈恵会医科大学 薬理学講座） 稲松 孝思（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 臨床検査科・感染症内科）			
	6	ニューキノロン系抗菌薬投与後に発症した出血の 副作用	藤田 昌樹	福岡大学病院 呼吸器内科
	7	黄疸及び高度の肝機能障害を呈し胆嚢炎を発症した Ceftriaxone-associated biliary pseudolithiasis の1例	山口 禎夫	国立病院機構栃木病院 感染 アレルギー科 臨床研究部
	8	リネゾリド投与例における血小板減少発現の背景因 子に関する検討	植田 貴史	神戸大学 医学部 附属病院 薬剤部
	9	リン酸オセルタミビル服薬妊婦が出産した児に 関する症例集積調査	林 昌洋	虎の門病院 薬剤部
	10	造血幹細胞移植後のサイトメガロウイルス抗原血症および 感染症に対するホスカルネットの安全性および有効性評価	佐野 智望	国立がんセンター 中央病院 薬剤部
	11	急性骨髄性白血病に対する初回寛解導入療法後に発症した reversible posterior leukoencephalopathy syndrome (RPLS)	岩下 紗子	東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科
	12	ニューキノロン系抗菌薬の血圧および心拍数に 及ぼす影響	山田 香織	慶應義塾大学 薬学部 実務薬学講座
	13	代替実験動物におけるプロドラッグ型アゾール系 抗真菌薬に及ぼす甲状腺機能の検討	吉山 友二	北里大学 薬学部 臨床薬学研 究・教育センター 保険薬局学
	14	副作用報告から見た最近の抗微生物薬の安全性の 動向	奥平 朋子	医薬品医療機器総合機構

プログラム
（要望演題）

第3日 6月5日(金) 午後 第3会場

セッション	演題番号	演題名	発表演者	所属
熱帯医学・輸入感染症 13:10~14:10	座長：大西 健児（都立墨東病院 感染症科）			
	15	西ケニアのコレラ流行とその起因菌の性状について	一瀬 休生	Kenya Research Station, Institute of Tropical Medicine
	16	アジスロマイシンによる日本人腸チフス患者の治療	大西 健児	東京都立墨東病院 感染症科
	17	カメルーンから帰国した60歳代日本人男性の四日熱マラリアの一例	竹下 望	国立国際医療センター 国際疾病センター
症例検討（私はこちら治療する） 14:10~15:40	座長：米山 彰子（虎の門病院 中央検査部） 三木 誠（仙台赤十字病院）			
	18	PET-CTとQFT-TB2Gが有用であった慢性肺疾患（線維化を伴う肺気腫）に併発した肺結核の一例	星 進悦	岩手県立北上病院 呼吸器科
	19	私はこちら治療する：成人の百日咳症例	渡辺 彰	東北大学加齢医学研究所 抗感染症薬開発研究部門
	20	レジオネラ肺炎をどう治療するか？	高原 政利	仙台赤十字病院 呼吸器科
	21	透析患者へのVCM投与に対するICTの取り組み	西 圭史	杏林大学医学部付属病院 ICT
	22	くすぶり型ATLと糞線虫症に伴う緑膿菌性髄膜炎の1例	新里 敬	中頭病院 感染症内科
	23	多剤耐性緑膿菌敗血症に対するaztreonamとアミノグリコシド系抗菌薬の併用療法	荒岡 秀樹	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 臨床感染症科

プログラム
(要望演題)

プログラム【一般演題】

第2日 6月4日(木) 午後 第3会場

セッション	演題番号	演題名	発表者	所属
各種微生物の 感受性・耐性 I(1) 14:30~15:10		座長：竹村 弘（聖マリアンナ医科大学 微生物学教室）		
	24	イミペネム耐性緑膿菌に対するシタフロキサシンの抗菌活性について	竹村 弘	聖マリアンナ医科大学 微生物学
	25	メタロ-β-ラクタマーゼ産生 <i>Pseudomonas aeruginosa</i> に対する TAZ/PIPC と各種抗菌薬の <i>in vitro</i> 併用効果	藤村 茂	東北大学 加齢医学研究所 抗感染症薬開発研究部門
	26	メタロ-β-ラクタマーゼ産生 <i>Pseudomonas aeruginosa</i> における pyocyanin 産生について	布施 克浩	東北大学 大学院 医学系 研究科 呼吸器病態学分野
	27	同一症例から検出された β-lactamase 産生性の異なる <i>Serratia marcescens</i> の解析	池田 文昭	三菱化学メディエンス
各種微生物の 感受性・耐性 I(2) 15:10~15:50		座長：藤本 修平（群馬大学大学院 医学系研究科生体防御機構学講座細菌感染制御学）		
	28	血液由来 <i>Pseudomonas aeruginosa</i> （2008年調査株）の各種抗菌薬感受性および経年的変化	金山 明子	三菱化学メディエンス 化学療法研究室
	29	血液由来臨床分離株に対するメロペネムの抗菌力の検討	小林 芳夫	慶応義塾大学 医学部 中央臨床検査部
	30	カルバペネム耐性 <i>Enterobacteriaceae</i> に関する検討	村谷 哲郎	産業医科大学 医学部 泌尿器科
	31	宮城県における <i>Acinetobacter</i> spp. の薬剤感受性調査	高根 秀成	東北大学 加齢医学研究所 抗感染症薬開発研究部門
各種微生物の 感受性・耐性 I(3) 15:50~16:30		座長：村谷 哲郎（産業医科大学医学部 泌尿器科）		
	32	ペニシリン低感受性 B 群連鎖球菌に関する依頼解析	木村 幸司	国立感染症研究所 細菌第二部
	33	外科感染症分離菌に対する MIC に基づく抗菌薬の統計学的分類の試み	鈴木 昌	慶応義塾大学 医学部 救急医学
	34	MRSA における多剤排出ポンプ遺伝子 <i>qacB</i> の分布と薬剤感受性 I — <i>qacB</i> 保有率と fluoroquinolones 耐性率の年次推移—	並木 淑恵	東京薬科大学 薬学部 病原微生物学教室
	35	MRSA における多剤排出ポンプ遺伝子 <i>qacB</i> の分布と薬剤感受性 II — <i>qacB</i> 多型と fluoroquinolones 耐性との関連性—	中南 秀将	東京薬科大学 薬学部 病原微生物学教室
各種微生物の 感受性・耐性 I(4) 16:30~17:10		座長：鈴木 里和（国立感染症研究所 細菌第2部）		
	36	血液由来 MRSA の薬剤感受性と抗 MRSA 薬の治療効果に関する検討	中村 竜也	関西医科大学附属 枚方病院 臨床検査部
	37	MRSA 血流感染症例分離株における抗 MRSA 薬（アルベカシン、テイコプラニン、バンコマイシン）感受性の経年的変化と治療予後	高田 徹	福岡大学病院腫瘍・ 血液・感染症内科
	38	テイコプラニンの先発品とジェネリック品の抗菌力の比較検討	藤村 茂	東北大学 加齢医学研究所 抗感染症薬開発研究部門
	39	当院のグラム陰性桿菌における耐性菌の分離状況	木場由美子	広島大学病院 診療支援部

プログラム
（一般演題）

第2日 6月4日(木) 午後 第5会場

セッション	演題番号	演題名	発表演者	所属
尿路・生殖器 感染症1 14:30~15:10		座長：清田 浩（東京慈恵会医科大学附属青戸病院 泌尿器科）		
	40	外来患者の尿中由来大腸菌と腸球菌の薬剤感受性と年次推移について	石川 清仁	藤田保健衛生大学 医学部 腎泌尿器外科
	41	尿中分離菌の年次的変遷と薬剤感受性について	三浦 徹也	兵庫県立尼崎病院 泌尿器科
	42	尿路より分離された緑膿菌の抗菌薬感受性および患者背景について	堀野 哲也	東京慈恵会医科大学 感染制御部
	43	ホスホマイシン・カルシウムの単純性膀胱炎に対する臨床効果検証	松本 哲朗	産業医科大学 泌尿器科
尿路・生殖器 感染症2 15:10~15:40		座長：門田 晃一（あらかぎ腎・泌尿器科クリニック）		
	44	長期間IUD留置した子宮腔内からEikenella corrodensを認めたtubo-ovarian abscessの1症例	黄 豊羽	赤穂市民病院 産婦人科
	45	男子非淋菌尿道炎に対するガチフロキサシンの臨床研究（GONG study）—細菌学的効果—	濱砂 良一	宮崎大学 医学部 外科学講座 泌尿器科分野
46	男子非淋菌尿道炎に対するガチフロキサシンの臨床研究（GONG study）—臨床効果—	濱砂 良一	宮崎大学 医学部 外科学講座 泌尿器科分野	
皮膚・軟部組織・骨感染症1 15:40~16:10		座長：藤島清太郎（慶應大学医学部 医学研究科救急医学）		
	74	糖尿病感染性足壊疽に対する診断と治療	新城 孝道	東京女子医科大学 糖尿病センター
	75	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>dysgalactiae</i> による初めてのヒト侵襲性感染症例	外山 雅美	船橋市立医療センター 検査科
76	ガス像を認めた黄色ぶどう球菌による壊死性筋炎、筋膿瘍の一例	曾木 美佐	聖路加国際病院 内科感染症科	
皮膚・軟部組織・骨感染症2 16:10~16:40		座長：古川 恵一（聖路加国際病院 内科感染症科）		
	77	<i>Salmonella</i> による頸椎骨髄炎の二症例	山内 悠子	聖路加国際病院 内科感染症科
	78	<i>Streptococcus equisimilis</i> による腰椎の慢性化膿性椎体炎に対してMFLX経口投与により長期コントロールが可能であった1例	小泉 祐介	滋賀医科大学消化器・血液内科
79	<i>Mycobacterium xenopi</i> による脊椎炎の一例	宮崎 泰斗	東邦大学 医療センター 大森病院 呼吸器内科	
感染免疫・生体防御1 16:40~17:10		座長：河合 伸（杏林大学医学部 総合医療学）		
	80	黄色ブドウ球菌の菌体成分による好中球活性化に関する研究	斧 康雄	帝京大学 医学部 微生物学講座
	81	ヒト好中球内の炎症性サイトカインやTLR遺伝子発現に及ぼすリポテイコ酸の影響	祖母井庸之	帝京大学医学部微生物学講座
82	トブラマイシンによるヒト気道上皮細胞NCI-H292細胞におけるMUC5AC抑制効果の検討	柳原 克紀	長崎大学 医学部歯学部 附属病院 検査部	

第2日 6月4日(木) 午後 第5会場

セッション	演題番号	演題名	発表演者	所属
感染免疫・生体防御2 17:10~17:50		座長：斧 康雄（帝京大学医学部 微生物学講座）		
	83	ニューキノロン系抗菌薬の炎症性サイトカインに及ぼす影響 —マウス腹腔マクロファージを用いた検討—	荻野 弘美	慶應義塾大学 薬学部 実務薬学講座
	84	敗血症患者好中球の細胞膜受容体発現に及ぼすステロイドの影響	丹生 茂	帝京大学 医学部 微生物学講座
	85	ステロイド薬の好中球 MAPK family 磷酸化に対する影響 —重症感染症患者由来の好中球での比較検討—	越尾 修	帝京大学 医学部 微生物学講座
	86	抗 HIV 治療の Th1/Th2 バランスへの影響	古西 満	奈良県立医科大学感染症センター

第2日 6月4日(木) 午後 第6会場

セッション	演題番号	演題名	発表演者	所属
検査法1 14:30~15:00		座長：大塚 喜人（亀田総合病院 臨床検査部）		
	47	各種 MRSA スクリーニング培地の MRSA 検出率に関する比較検討	小林とも子	株式会社キューリン
	48	標準化半定量 PCR 法を用いた呼吸器感染症の起炎菌同定法 —A multicenter prospective study for the validation—	平間 崇	埼玉医科大学病院 呼吸器内科
	49	成人持続咳嗽患者に対する LAMP 法による百日咳菌遺伝子検索の検討	中村 敦	名古屋市立大学 呼吸器内科
検査法2 15:00~15:30		座長：大楠 清文（岐阜大学大学院 医学系研究科再生分子統御学講座病原体制御学分野）		
	50	LAMP 法による 16S rRNA メチラーゼ遺伝子 (<i>rmtA</i> , <i>rmtB</i> , <i>armA</i>) の迅速検出	長沢 光章	東北大学病院 診療技術 部・検査部
	51	肺炎における喀痰中肺炎球菌抗原の迅速検出の検討	福島喜代康	日本赤十字社長崎原爆 諫早病院
	52	全自動尿中有形成分分析装置 UF-1000i による尿中細菌数計測値の検討 —尿培養による細菌実測値の比較—	小澤 秀夫	川崎医科大学附属

第2日 6月4日(木) 午後 第7会場

セッション	演題番号	演題名	発表演者	所属
真菌感染症1 14:30~15:00		座長：前崎 繁文（埼玉医科大学 感染症科・感染制御科）		
	53	血液由来 <i>Candida</i> 属における各種抗真菌薬の感受性について	國島 広之	東北大学大学院内科病態学講座 感染制御・検査診断学分野
	54	血流感染より分離された <i>Candida</i> 属の抗真菌薬感受性	大毛 宏喜	広島大学 病態制御医科学講座 外科
	55	肺クリプトコックス症の治療に関する検討	三原 智	長崎大学大学院医歯薬総合研究科 感染免疫学講座(第二内科)
真菌感染症2 15:00~15:30		座長：平松 和史（大分大学医学部附属病院 医療安全管理部・感染制御部）		
	56	慢性肺アスペルギルス症患者の mannose-binding lectin (MBL) 遺伝子における一塩基多型の検討	西條 知見	長崎大学医学部付属病院 第二内科
	57	慢性壊死性肺アスペルギルス症を対象としたミカファンギンとボリコナゾールの比較試験	鈴木 純子	国立病院機構東京病院
	58	アカウントアメーバに対する抗真菌薬の感受性測定	野口 雅久	東京薬科大学 薬学部 病原微生物学教室
MRSA1 15:30~16:00		座長：橋本 章司（大阪大学大学院 医学系研究科感染制御部）		
	63	市中獲得型 MRSA による敗血症・骨髄炎の乳児例	三村 成巨	上尾中央総合病院 小児科
	64	リネゾリドの長期投与が奏効した急性骨髄性白血病に併発した多発性 MRSA 膿瘍の1症例	吉岡 睦展	宝塚市立病院 ICT
	65	岐阜県内で分離された MRSA に対する各種抗真菌薬の抗菌活性	板谷 和也	富山化学工業株式会社 総合研究所
MRSA2 16:00~16:30		座長：笠井 正志（長野県立こども病院 救急集中治療科）		
	66	岐阜県内で分離された MRSA の分子疫学解析	古家 由理	富山化学工業株式会社 総合研究所
	67	東京都内某保育園の子供から分離された MRSA および MRC-NS の分子疫学的解析	桑原 京子	順天堂大学 医学部 細菌学
	68	我が国で分離された MRSA 株の持つ PVL ファージについて	張 萌	順天堂大学大学院 感染制御科学
MRSA3 16:30~17:20		座長：山本 達男（新潟大学大学院 医歯学総合研究科国際感染医学講座細菌学分野）		
	69	日本における5施設より分離された Linezolid 耐性 MRSA の 23S rRNA 変異の解析	壇辻百合香	北里大学 抗感染症薬研究センター
	70	染色体の突然変異による黄色ブドウ球菌のバンコマイシン耐性	崔 龍洙	順天堂大学・医学部 細菌学
	71	黄色ブドウ球菌のバンコマイシン耐性と二成分制御系 <i>walKR</i> の関連性について	鐘司 光貴	順天堂大学 医学部 細菌学 感染制御科学
	72	二成分制御系 <i>graSR</i> を介した hetero-VISA から VISA への変換に関与する遺伝子の同定	松尾 美記	順天堂大学 医学部 細菌学
	73	Imipenem によるヘテロバンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (Heterogeneous Vancomycin-Intermediate <i>Saureus</i> ; hVISA) の選択	片山 由紀	順天堂大学 医学部 細菌学

第2日 6月4日(木) 午後 第8会場

セッション	演題番号	演題名	発表演者	所属
レジオネラ 14:30~15:10		座長：藤田 次郎（琉球大学 医学部 感染病態制御学講座）		
	59	<i>Legionella pneumophila</i> による気道ムチン MUC5AC 産生	森永 芳智	長崎大学 医学部・歯学部 附属病院 臨床検査部
	60	呼吸器材料を対象とした Loop-mediated isothermal amplification 法を用いた <i>Legionella</i> 属菌による感染症診断に関する検討	石井 良和	東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座
	61	当院および関連施設で経験したレジオネラ肺炎 16 例の臨床的検討	柳原 克紀	長崎大学 医学部歯学部 附属病院 検査部
	62	レジオネラ市中肺炎患者の臨床像ならびに予後の検討	杉野 圭史	東邦大学医療センター 大森病院 呼吸器内科

第3日 6月5日(金) 午前 第6会場

セッション	演題番号	演題名	発表者	所属
各種微生物の感受性・耐性Ⅱ(1) 9:20~10:00	座長：小林 寅喆（東邦大学医学部 看護学科 感染制御学）			
	101	岐阜県内で分離されたセフェム耐性グラム陰性菌に対する各種抗菌薬の抗菌活性	久田 晴美	富山化学工業株式会社 総合研究所
	102	当院における基質拡張型βラクタマーゼ extended-spectrum β-lactamase (ESBL) 産生菌の現状について	加藤 純大	杏林大学 医学部 呼吸器内科
	103	各種臨床分離株のPazufloxacin (PZFX) に対する感受性経年調査最終報告	大野 章	東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座
	104	緑膿菌の薬剤感受性サーベイランス成績（2007年-2008年）	中森 祥隆	薬剤感受性サーベイランス研究会
各種微生物の感受性・耐性Ⅱ(2) 10:00~10:30	座長：長沢 光章（東北大学大学院 診療技術部・検査部）			
	105	呼吸器感染症における肺炎球菌およびインフルエンザ菌の各種抗菌薬に対する薬剤感受性に関する検討	小山 和彦	長崎大学 熱帯医学研究所 臨床医学分野
	106	化膿性髄膜炎由来莢膜b型 <i>Haemophilus influenzae</i> (Hib) の耐性化の現状	岸井こずゑ	北里大学北里生命科学研究所・病原微生物分子疫学研究室
	107	<i>Haemophilus influenzae</i> の各種抗菌薬に対する感受性について	宮良 高維	薬剤感受性サーベイランス研究会
薬剤耐性1 10:30~11:00	座長：八木 哲也（名古屋大学 医学部附属病院 中央感染制御部）			
	108	腸管由来 ESBL 産生菌における CTX-M-14 β-lactamase 遺伝子保有の拡がり	外山 雅美	船橋市立医療センター 検査科
	109	国産鶏肉由来基質特異性拡張型β-ラクタマーゼの解析	江藤 麻希	東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座
	110	日本における ESBL 産生 <i>Proteus mirabilis</i> の fluoroquinolone 系抗菌薬に対する耐性機構の解析	金山 明子	三菱化学メディエンス 化学療法研究室
薬剤耐性2 11:00~11:40	座長：原田 壮平（東京大学 医学部 感染症内科）			
	111	当院での ESBL 産生菌の状況	米田 尚生	大垣市民病院 ICT
	112	<i>Enterobacter</i> 属における基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ (ESBL) 産生株の判定法についての検討	廣谷 綾子	東北大学 医学部 保健学科
	113	全病院的なカルバペネム系薬剤適正使用と ESBL 産生グラム陰性桿菌の増加	和田 恭直	兵庫医科大学 臨床検査部
	171	Comparing the expression of bla _{CTX-M-3} β-lactamase with and without ISE _{cp1} promoter sequence	Ma, Ling	Division of Infectious Disease, National Health Research Institutes, Miaoli County, Taiwan

プログラム
（一般演題）

第3日 6月5日(金) 午前 第7会場

セッション	演題番号	演題名	発表演者	所属
PK-PD 1 9:10~9:50		座長：大谷 剛（第一三共株式会社 葛西研究開発センター生物医学第4研究所）		
	87	<i>In vitro</i> pharmacodynamic model を用いたカルバペネム耐性緑膿菌出現メカニズムの検討	山口 高広	塩野義製薬株式会社創薬研究所
	88	緑膿菌性マウス大腿部感染モデルを用いた DRPM の <i>in vivo</i> PK-PD 解析に関する検討—簡便法と従来法の比較—	佐藤 剛章	塩野義製薬(株)創薬研究所 感染症部門
	89	透析患者のドリベネムの薬物動態に基づく至適投与設計	平田 純生	熊本大学 薬学部 附属育薬フロンティアセンター・臨床薬理学分野
	90	重症腹腔内感染症に対する Doripenem の有効性・安全性の検討	草地 信也	東邦大学医療センター大橋病院 外科
PK-PD 2 9:50~10:20		座長：宮崎 修一（東邦大学医学部 微生物・感染症学講座）		
	91	ニューキノロン系抗菌薬の発熱時における体内動態に関する検討	藤井 美帆	慶應義塾大学 薬学部 実務薬学講座
	92	腹腔内感染症に対する注射用シプロフロキサシンの目標 AUC/MIC 値に関するプロスペクティブ研究	山岸 由佳	愛知医科大学大学院医学研究科 感染制御学
	93	マイクロサンプリングプローブを用いた気道被覆中の garenoxacin 濃度測定（第二報）	宮良 高維	近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科
PK-PD 3 10:20~10:50		座長：中嶋 一彦（兵庫医科大学 医学部 感染制御）		
	94	テイコプラニン投与開始早期の血中濃度と有効性および安全性との関連性	佐藤 雄己	大分大学医学部附属病院 薬剤部
	95	血液透析患者における新しいバンコマイシン投与レジメの検証	中嶋 一彦	兵庫医大 医学部 感染制御
	96	Coagulase negative <i>Staphylococcus</i> による Catheter related bloodstream infection における Vancomycin の有効性・安全性について	望月 敬浩	静岡県立静岡がんセンター 薬剤部
PK-PD 4 10:50~11:30		座長：森田 邦彦（同志社女子大学 薬学部）		
	97	VCM 初期投与量計算に用いるクレアチニンクリアランス式、及び母集団パラメータの検討と Etest による PK-PD の取り組み	高橋 信	財団法人東京都保健医療公社 多摩北部医療センター 薬剤科
	98	血中濃度測定を行いつつペニシリン系抗菌薬を持続投与し治療奏功を見た2症例	小川 拓	奈良県立医科大学附属病院 感染症センター
	99	VCM の AUC/MIC からみた喀痰中の MRSA の評価	平井 由児	東京女子医科大学病院 感染症科
	100	PK-PD 理論を応用した薬剤感受性試験を実施して	笹野 正明	岡崎市民病院 臨床検査微生物検査室

第3日 6月5日(金) 午後 第5会場

セッション	演題番号	演題名	発表演者	所属
耳鼻咽喉科領域 13:10~14:00		座長：矢野 寿一（東北大学大学院医学系研究科 臨床微生物解析治療学）		
	114	急性中耳炎由来の肺炎球菌における莢膜血清型と耐性率の変化：'98~'00年と'06~'07年の比較	千葉菜穂子	北里大学 大学院感染制御科学府
	115	小児急性中耳炎における起炎菌の分離頻度・薬剤耐性化の傾向と対策	河野 正充	和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科
	116	急性副鼻腔炎の起炎菌と臨床経過	池田 頼彦	和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
	117	耳鼻咽喉科領域感染症ガレノキサシン（GRNX）の有用性の検討と再燃調査	伊藤 真人	金沢大学附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
	118	上顎洞から頭蓋内へ進展したムコール症の一例	辺 夏蓮	福島県立医科大学 感染制御・臨床検査医学
全身感染症1 14:00~14:30		座長：青木 洋介（佐賀大学医学部附属病院 感染制御部）		
	160	当院における市中発症菌血症症例の検討	西山 秀樹	日本赤十字社和歌山医療センター呼吸器内科 ICT
	161	演題取り下げ		
	162	Ceftriaxone で治療した感染性心内膜炎の検討	戸塚 恭一	東京女子医科大学病院 感染症科
全身感染症2 14:30~15:00		座長：吉田 正樹（東京慈恵会医科大学 感染制御部）		
	163	リネゾリドが著効した Overwhelming postsplenectomy infection syndrome の1例	杉生 忠昭	川崎医科大学 呼吸器内科
	164	Febrile neutropenia における血液培養の再考	池ヶ谷論史	福井大学 医学部 第一内科
	165	DNA マイクロアレイ法による造血器疾患に合併する <i>Bacillus</i> 敗血症の早期診断	田居 克規	福井大学医学部 内科学 (1)

第3日 6月5日(金) 午後 第6会場

セッション	演題番号	演題名	発表者	所属
抗微生物薬の 基礎的研究 1 13:10~13:40		座長：比嘉 太（琉球大学大学院医学研究科 分子病態感染症学分野）		
	119	緑膿菌に対する各種抗菌薬の経時的 minimal bacterial concentration (MBC) および cell-associated bacteria に対する殺菌効果	平潟 洋一	東北大学大学院 内科病態学講座 感染制御・検査診断学分野
	120	多剤耐性緑膿菌の耐性因子と抗菌薬併用効果の関連について	片岡 裕史	抗菌薬併用療法研究会
	121	Ceftazidime とカルボシステインの緑膿菌 biofilm 形成に及ぼす併用効果	大谷 哲史	大分大学 医学部 総合内科学第2
抗微生物薬の 基礎的研究 2 13:40~14:20		座長：平潟 洋一（東北大学病院 内科病態学講座感染制御・検査診断学分野）		
	122	トリテルペノイドによる緑膿菌の病原因子産生阻害作用の検討	野依久美子	就実大学 薬学部 病原微生物学
	123	排出ポンプ阻害活性と膜障害作用の分離評価	松本 佳巳	大阪大学産業科学研究所
	124	Arbekacin (ABK) と sulbactam/ampicillin との併用時における SCVs 出現抑制の検討	富永 英司	順天堂大学 大学院 感染制御科学
	125	薬剤耐性菌に対するクマザサの抗菌薬増強作用を巧みに用いた新規抗菌剤の開発研究	金子 晃子	横浜市立大学大学院 医学研究科 薬物療法学
抗微生物薬の 基礎的研究 3 14:20~15:00		座長：菊池 賢（順天堂大学医学部 感染制御科学）		
	126	黄色ブドウ球菌の付着因子およびバイオフィルム形成に対する各種テルペノイドの影響	土屋 友房	岡山大学大学院 医歯薬学 総合研究科 分子微生物学
	127	抗酒癖薬ジスルフィラムの結核菌特異的な作用に関する研究	稲垣 衣美	名古屋市立大学 薬学部 薬学研究科
	128	銀翹散の <i>in vitro</i> 抗インフルエンザウイルス活性について	引地 香織	徳島大学大学院 薬科学 教育部
	129	HIV プロテアーゼ阻害能を示した低分子化合物	金本 大成	聖マリアンナ医科大学 微生物学教室
動物実験モデル 15:00~15:50		座長：波多野和男（アステラス製薬株式会社 薬理研究所）		
	166	リアルタイム <i>in vivo</i> イメージングシステムの動物感染実験モデルへの展開 — ビアベネムの有効性評価 —	狩山 玲子	岡山大学大学院 医歯薬学 総合研究科 泌尿器病態学
	167	緑膿菌慢性気道感染症モデルに対するカルバペネム系抗菌薬ドリベネムの効果	柳原 克紀	長崎大学 医学部歯学部 附属病院 検査部
	168	マクロライド耐性インフルエンザ菌肺炎モデルに対するクラリスロマイシンの有効性	柳原 克紀	長崎大学 医学部歯学部 附属病院 検査部
	169	侵襲性肺アスペルギルス症マウスモデルにおけるアムホテリシン B リポソーム製剤吸入とミカファンギン併用療法の有用性の検討	高園 貴弘	長崎大学医学部 医歯薬学総合研究科 感染免疫学講座(第二内科)
	170	難治性緑膿菌感染症に対するガリウム治療の効果および耐性機序に関する検討	金子 幸弘	国立感染症研究所生物活性物質部

プログラム
(一般演題)

第3日 6月5日(金) 午後 第7会場

セッション	演題番号	演題名	発表演者	所属
呼吸器感染症1 13:10~13:50		座長：高橋 洋 (坂総合病院 呼吸器科)		
	130	非定型肺炎と細菌性肺炎の鑑別表の問題点—前抗菌薬使用の影響—	宮下 修行	川崎医科大学 呼吸器内科
	131	成人呼吸器感染症患者から分離された肺炎球菌の薬剤耐性と耐性遺伝子変異の経年的検討	萩原 恵里	神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器科
	132	成人呼吸器感染症例におけるマクロライド系薬耐性 <i>Mycoplasma pneumoniae</i> の出現状況	諸角美由紀	北里大学 北里生命科学研究所病原微生物分子疫学研究室
	133	急性もしくは遷延性の乾性咳嗽における GRNX/SFC500 併用療法の試み (特に百日咳凝集素価の高値例での検討)	高尾 匡	板橋中央総合病院 呼吸器科
呼吸器感染症2 13:50~14:30		座長：宮下 修行 (川崎医科大学 呼吸器内科)		
	134	コリネバクテリウムによる市中発症肺炎症例の患者背景および臨床像	高橋 洋	坂総合病院 呼吸器科
	135	沖縄県におけるインフルエンザ流行状況	比嘉 太	琉球大学医学研究科感染病態制御学講座 (第一内科)
	136	アンチゲネミア陰性のサイトメガロウイルス肺炎の一例	滝本 浩平	神戸大学附属病院 感染症内科
	137	長崎大学医学部・歯学部附属病院第二内科における院内肺炎過去2年間の検討	峰松明日香	長崎大学医学部・歯学部附属病院 第2内科
呼吸器感染症3 14:30~15:00		座長：伊藤 功朗 (京都大学大学院医学研究科 呼吸器内科学)		
	138	細菌性肺炎における biapenem 持続点滴投与法の検討	増渕 健	公立富岡総合病院 内科
	139	臨床因子の尤度解析による MRSA 肺炎 (気道感染) の定量的診断	青木 洋介	佐賀大学 医学部 附属病院 感染制御部
	140	MRSA 肺炎の予後についての臨床的検討	小山 徹	四天王寺病院 内科
呼吸器感染症4 15:00~15:40		座長：坂田 宏 (旭川厚生病院小児科)		
	141	最近分離された <i>Mycobacterium avium</i> complex (MAC) の薬剤感受性試験と肺 MAC 症に対する治療成績	小橋 吉博	川崎医科大学 呼吸器内科
	142	非ホジキンリンパ腫の化学療法関連肺病変の臨床的検討	彌永 和宏	NTT 西日本九州病院 呼吸器内科
	143	小児 A 群溶血性連鎖球菌 (GAS) 性咽頭炎・扁桃炎例に対する cefditoren pivoxil 投与の多施設共同研究	河合 泰宏	川崎医科大学 小児科
	144	小児の肺炎に対する amoxicillin, cefcapene-pivoxil, faropenem の3剤の比較試験	坂田 宏	旭川厚生病院 小児科

プログラム
(一般演題)

第3日 6月5日(金) 午後 第8会場

セッション	演題番号	演題名	発表者	所属
感染予防・感染対策・適正使用 1 13:10~13:50		座長：飯沼 由嗣（京都大学大学院医学研究科 臨床病態検査学）		
	145	カルバペネム系抗菌薬の使用動向と緑膿菌に対する薬剤感受性率の変化に関する検討	宮脇 康至	大阪大学 医学部 附属病院 薬剤部
	146	当院における、抗菌薬適正使用に伴う抗菌薬使用量の変化とアンチバイオグラムの変化について	相野田祐介	東京女子医科大学 感染対策部感染症科
	147	横浜市立市民病院におけるニューキノロン系注射用抗菌薬の使用状況の変化	五十嵐 俊	横浜市立市民病院 医療安全管理室
	148	フルオロキノロン系経口抗菌薬の適正使用推進と緑膿菌の薬剤感受性の変化	河内 邦仁	医療法人 医仁会 中村記念病院 薬剤部
感染予防・感染対策・適正使用 2 13:50~14:20		座長：草野 展周（岡山大学病院 中央検査部）		
	149	中規模急性期病院における抗菌薬適正使用の試み	藤澤 克憲	福井県済生会病院 感染制御チーム
	150	使用届出制導入によるリネゾリドの使用状況および薬剤効果の変化 —当院使用 22 症例からの検討—	萱場 広之	秋田大学 医学部 附属病院 ICT
	151	内服薬を含めた抗菌薬使用量調査	望月 敬浩	静岡県立静岡がん センター 薬剤部
感染予防・感染対策・適正使用 3 14:20~15:00		座長：徳江 豊（群馬大学医学部附属病院 感染制御部）		
	152	当院における ESBL 産生菌に関する検討	築地 淳	横浜市立大学 附属病院 リウマチ・血液・感染症内科
	153	CRP が高かった 3 症例	岩田健太郎	神戸大学医学部附属病院 感染症内科
	154	<i>Clostridium difficile</i> 関連下痢症の治療におけるメトロニダゾール導入についての検討	丸山久美子	熊本労災病院 薬剤部
	155	術後感染予防抗菌薬使用マニュアル導入後の遵守率継続性	高橋 佳子	兵庫医科大学病院 薬剤部
感染予防・感染対策・適正使用 4 15:00~15:40		座長：金光 敬二（福島県立医科大学 感染制御・臨床検査医学講座）		
	156	「泌尿器科領域における周術期感染予防ガイドライン」の臨床的検討	和田耕一郎	岡山大学大学院医歯薬学 総合研究科泌尿器病態学
	157	感染制御からみた結核患者の隔離解除について	今福 裕司	福島県立医科大学 感染制御・臨床検査医学
	158	MRSA 検出率に対する抗菌薬、速乾性手指消毒薬および手袋の使用量の影響	松元 一明	鹿児島大学医学部・歯学 部附属病院 薬剤部
	159	経直腸的前立腺針生検時における感染予防抗菌薬の検討	中野 雄造	神戸大学医学部 腎泌尿器科学